

# 第80期 報告書

2012.4.1 ▶ 2013.3.31

T H E   W A Y  
O F  
M U T U A L  
P R O G R E S S

# 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

## THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」  
「間口よりも興行きのある研究」  
「進歩は常に需要とともに」

### 財務ハイライト(平成25年3月期)

		連結決算	単体決算
売上高	(百万円)	24,217	16,335
営業利益	(百万円)	881	208
経常利益	(百万円)	1,615	836
当期純利益	(百万円)	1,052	722
1株当たり当期純利益	(円)	75.97	52.16
純資産	(百万円)	22,816	16,892
総資産	(百万円)	31,234	24,071
自己資本比率	(%)	67.6	70.2

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第80期の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

大須 栄一

当連結会計年度における世界の経済情勢は、欧州諸国における債務問題により不透明な部分があったものの、総じて緩やかな回復傾向にありました。

当社の主要顧客の属する自動車業界におきましては、北米市場の回復やアセアン市場の拡大が牽引し、世界全体としては堅調に推移しました。日本においては、日中関係の影響による減産はあったものの、エコカー補助金による押上げ効果により回復基調にありました。

反面、太陽電池業界は欧州諸国での債務危機の深刻化による需要の伸び悩みに加えて、中国メーカーによる供給過剰状態が続いております。当社製品を使用するシリコンウェハー切斷メーカーにおいてもその影響を受けております。

こうした情勢の中、当社は第16次中期経営3ヶ年計画の2年目としてアセアン地域を中心としたグローバル化推進を継続してまいりました。その結果、国内の太陽電池用切斷油剤販売減少の影響はあったものの、自動車業界の生産回復により、売上高は前期比3.1%増の24,217百万円となりました。

利益については、海外子会社の堅調な業績を反映して、営業利益は前期比0.4%増の881百万円となりました。経常利益は持分法投資利益が大幅に増加したこと

等により前期比24.5%増の1,615百万円、当期純利益は前期比51.7%増の1,052百万円となりました。

今後の日本経済としては、円安により輸出環境が改善される兆しが顕著になってきている一方、その中長期的な定着には大きな懸念が存在します。しかし世界全体の情勢としては、欧州の債務問題等依然不透明な部分があるものの、当面はアジアを中心とした新興国市場の拡大、そして北米の堅調な回復が成長を支えていくと予想されます。

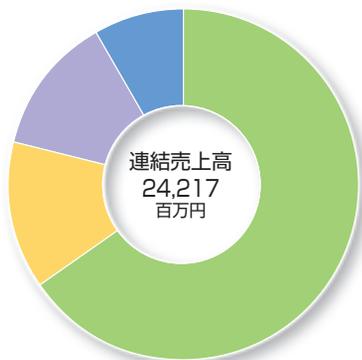
このような状況下、当社は成長著しいアジア地区へ積極的に投資し、グローバル展開を積極的に推し進め、企業業績の向上を目指してまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は26,200百万円（前期比8.2%増）、営業利益は1,260百万円（前期比42.9%増）、経常利益は1,980百万円（前期比22.5%増）、当期純利益は1,270百万円（前期比20.7%増）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

# セグメント情報 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)



日本 65.5%

南北アメリカ 13.5%

中国 12.9%

東南アジア/インド 8.1%

## ●日本

金属加工油剤事業では、自動車業界において、日中間係悪化による日本車買い控えにより中国向けの生産回復が遅れ、また、海外の現地生産拡大もあり売上高及び営業利益が前期を下回りました。ビルメンテナンス製品事業では、高付加価値製品の拡販による収益改善に努めま

した。

その結果、売上高は前期比3.1%減の15,857百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、経費削減努力もあって、前期比1.3%減に止まり458百万円となりました。

## ●南北アメリカ

米国では、好調な自動車生産を背景に新規顧客とメキシコへの拡販で売上高は前期を上回りました。一方、ブラジルでは景気後退の影響を受けて自動車関連顧客の生産が低迷し、売上高は前期を下回りました。

その結果、売上高は前期比21.2%増の3,277百万円

となりました。セグメント利益は原材料価格が高値で推移したものの、好調な米国の業績に牽引されるとともに原価低減努力の効果もあり、前期比41.6%増の192百万円となりました。

## ●中国

中国では、輸出産業が全体的に停滞し、主要顧客の鉄鋼会社での生産量が減少したことと、日系自動車メーカーの生産台数が減少したことで販売は低迷しました。

その結果、現地通貨ベースでの売上高は減少しました

が、円ベースでの売上高は、円安の影響により前期比7.8%増の3,125百万円となりました。セグメント利益も円安の影響を受け、前期比4.8%増の266百万円となりました。

## ●東南アジア/インド

タイでは、好調な自動車生産を背景に、売上高は前期を上回りました。本格的生産活動を開始したインドネシアでも、旺盛な自動車需要を背景に、売上高を伸ばしております。一方、マレーシアでは、従来から行っていたインドネシアへの輸出が減少、更にはIT業界におけるHDD生産も低調であったことから、売上高は前期を下回りました。インドでは、日系自動車メーカーを中心に積極的な販売活動に努め、売上高は前期に比べ増加しま

した。

その結果セグメント全体として、売上高は前期比29.3%増の1,957百万円となりました。しかし、セグメント利益は、原材料価格が高値で推移したこととインドネシアにおける営業活動の本格化による経費増等があり、33百万円の損失（前期は19百万円の利益）となりました。

## 売上高

		当 期		前 期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	外部顧客に対する売上高	15,857	65.5	16,364	69.7	△3.1
	地域間の内部売上高	479	—	494	—	—
	計	16,336	—	16,858	—	—
南北アメリカ	外部顧客に対する売上高	3,277	13.5	2,703	11.5	21.2
	地域間の内部売上高	76	—	65	—	—
	計	3,353	—	2,768	—	—
中国	外部顧客に対する売上高	3,125	12.9	2,900	12.4	7.8
	地域間の内部売上高	—	—	—	—	—
	計	3,125	—	2,900	—	—
東南アジア/インド	外部顧客に対する売上高	1,957	8.1	1,514	6.4	29.3
	地域間の内部売上高	1	—	22	—	—
	計	1,959	—	1,537	—	—
消去（地域間の内部売上高の合計）		△557	—	△582	—	—
連結		24,217	100.0	23,482	100.0	3.1

## セグメント利益（営業利益）

		当 期		前 期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	計	458	52.0	464	52.8	△1.3
南北アメリカ	計	192	21.8	135	15.5	41.6
中国	計	266	30.2	254	29.0	4.8
東南アジア/インド	計	△33	△3.8	19	2.3	—
消去（地域間の内部利益の合計）		△1	△0.2	3	0.4	—
連結		881	100.0	878	100.0	0.4

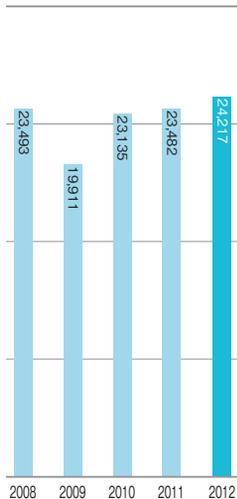
※ 各セグメントに属する国

- 日本 : 日本
- 南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ
- 中国 : 中国
- 東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

# 連結業績推移

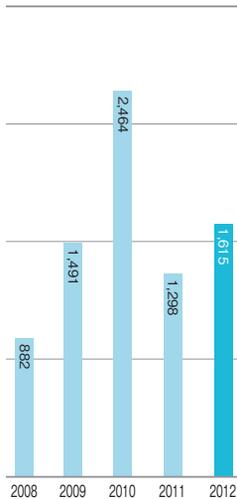
## 売上高

(単位：百万円)



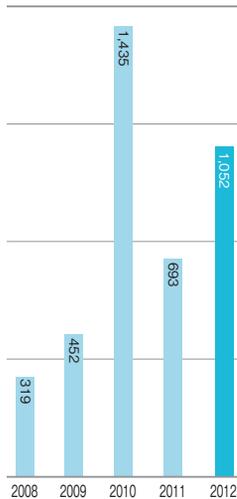
## 経常利益

(単位：百万円)



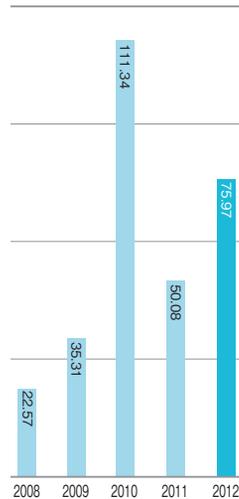
## 当期純利益

(単位：百万円)



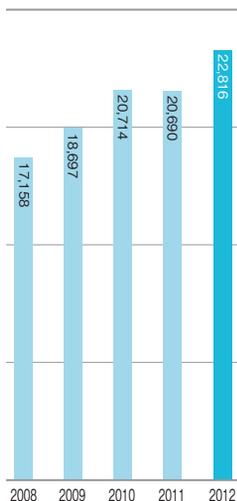
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



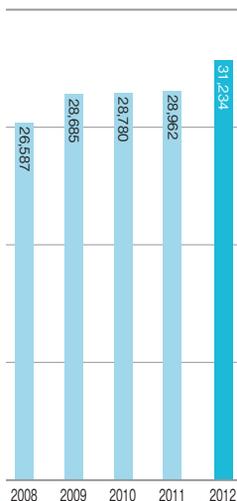
## 純資産

(単位：百万円)



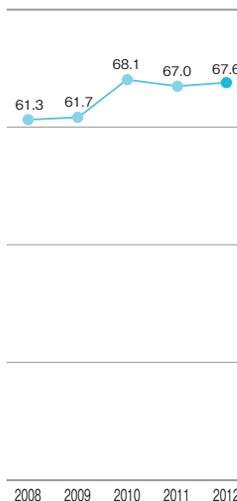
## 総資産

(単位：百万円)



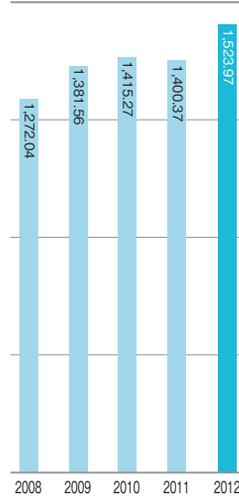
## 自己資本比率

(単位：%)



## 1株当たり純資産

(単位：円)



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	14,670	14,913
固定資産	16,563	14,049
有形固定資産	8,825	8,221
無形固定資産	697	324
投資その他の資産	7,041	5,503
<b>資産合計</b>	<b>31,234</b>	<b>28,962</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	6,709	6,536
固定負債	1,709	1,735
<b>負債合計</b>	<b>8,418</b>	<b>8,272</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	23,914	23,236
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	17,061	16,382
自己株式	△1,454	△1,454
その他の包括利益累計額	△2,801	△3,835
その他有価証券評価差額金	446	262
為替換算調整勘定	△3,248	△4,098
少数株主持分	1,703	1,290
<b>純資産合計</b>	<b>22,816</b>	<b>20,690</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>31,234</b>	<b>28,962</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	24,217	23,482
売上原価	17,442	16,881
<b>売上総利益</b>	<b>6,775</b>	<b>6,601</b>
販売費及び一般管理費	5,893	5,723
<b>営業利益</b>	<b>881</b>	<b>878</b>
営業外収益	801	523
受取利息及び受取配当金	152	172
持分法による投資利益	494	252
その他	154	98
営業外費用	67	103
支払利息	21	16
その他	45	86
<b>経常利益</b>	<b>1,615</b>	<b>1,298</b>
特別利益	11	4
特別損失	48	15
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,578</b>	<b>1,286</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>390</b>	<b>343</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>△18</b>	<b>86</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>1,207</b>	<b>857</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>154</b>	<b>163</b>
<b>当期純利益</b>	<b>1,052</b>	<b>693</b>

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株 主 持分	純資産 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本 合 計			
当期首残高	4,249	4,058	16,382	△1,454	23,236	△3,835	1,290	20,690
当期変動額								
剰余金の配当			△374		△374			△374
当期純利益			1,052		1,052			1,052
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						1,033	413	1,446
当期変動額合計	—	—	678	△0	678	1,033	413	2,125
当期末残高	4,249	4,058	17,061	△1,454	23,914	△2,801	1,703	22,816

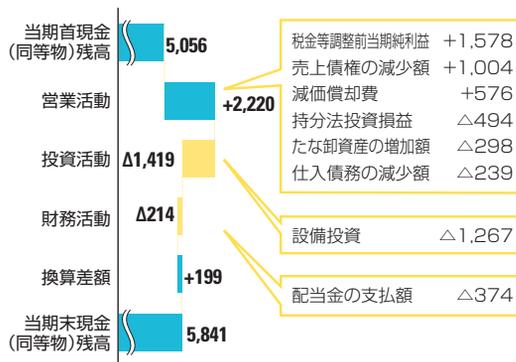
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,220	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,419	△1,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	132
現金及び現金同等物に係る換算差額	199	△190
現金及び現金同等物の増加額	785	△1,341
現金及び現金同等物の期首残高	5,056	6,397
現金及び現金同等物の期末残高	5,841	5,056

## 連結キャッシュ・フロー（主要要因事項）

(単位：百万円)



# 単体財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	8,900	9,619
固定資産	15,170	14,022
有形固定資産	6,752	6,590
無形固定資産	459	103
投資その他の資産	7,958	7,328
資産合計	24,071	23,642
<b>●負債の部</b>		
流動負債	5,590	5,606
固定負債	1,587	1,672
負債合計	7,178	7,278
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	16,460	16,112
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	9,607	9,258
自己株式	△1,454	△1,454
評価・換算差額等	431	251
その他有価証券評価差額金	431	251
純資産合計	16,892	16,363
負債及び純資産合計	24,071	23,642

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成24年4月 1 日から 平成25年3月31 日まで	平成23年4月 1 日から 平成24年3月31 日まで
売上高	16,335	16,846
売上原価	11,853	12,425
売上総利益	4,482	4,420
販売費及び一般管理費	4,273	4,258
営業利益	208	162
営業外収益	686	532
営業外費用	58	59
経常利益	836	635
特別利益	37	0
特別損失	5	13
税引前当期純利益	868	622
法人税、住民税及び事業税	178	90
法人税等調整額	△32	90
当期純利益	722	441

## 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

(平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで)	株主資本					評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本 合 計		
当期首残高	4,249	4,058	9,258	△1,454	16,112	251	16,363
当期変動額							
剰余金の配当			△374		△374		△374
当期純利益			722		722		722
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						180	180
当期変動額合計	—	—	348	△0	348	180	528
当期末残高	4,249	4,058	9,607	△1,454	16,460	431	16,892

# 株式情報 (平成25年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 5,705名  
(前期末比282名減)

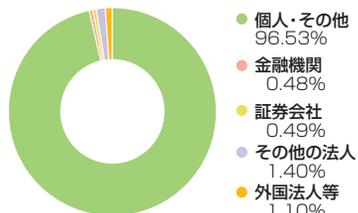
### 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	10,574	7.63
ユシロ化学工業取引先持株会	7,378	5.32
株式会社三井住友銀行	6,226	4.49
スズキ株式会社	5,490	3.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,088	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,746	2.70
ユシロ化学工業従業員持株会	3,492	2.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,161	2.28
三井住友海上火災保険株式会社	2,860	2.06
長瀬産業株式会社	2,437	1.75

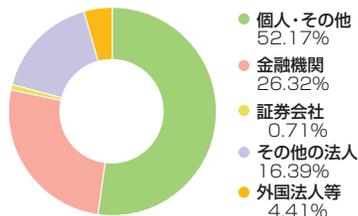
※当社は、自己株式13,462百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。持株比率は、自己株式(13,462百株)を除いて算出しております。

## 株式の分布状況

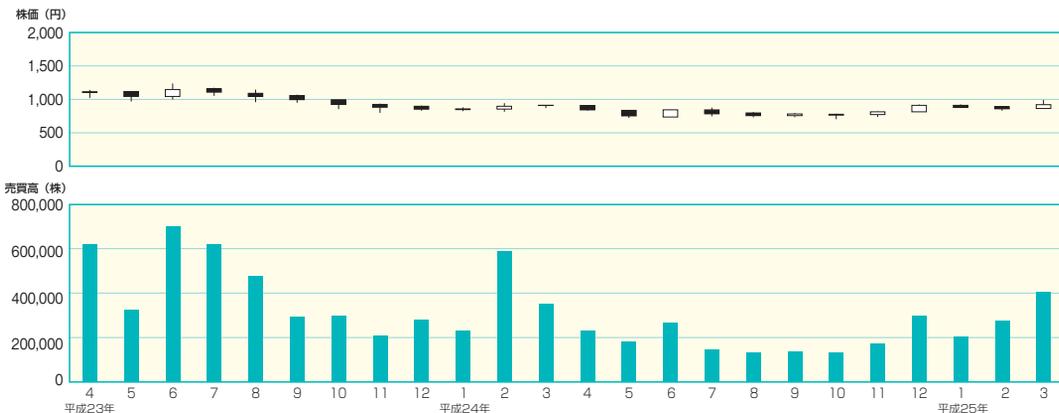
### 株主数比率



### 株式数比率



## 株価チャート



# 会社概要 (平成25年3月31日現在)

## ■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	<a href="http://www.yushiro.co.jp/">http://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	328名(連結760名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、太陽電池用切断油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品

## ■ 連結子会社

ユシロ運送株式会社
ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社 [米国]
ユシロドブラジルインダストリアケミカ有限公司 [ブラジル]
ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ]
上海尤希路化学工業有限公司 [中国]
啓東尤希路化学工業有限公司 [中国]
広州尤希路油剤有限公司 [中国]
ユシロジェットケミカルズ株式会社 [マレーシア]
ユシロ(タイランド)株式会社 [タイ]
ユシロ(インド)株式会社 [インド]
PT. ユシロインドネシア [インドネシア]

## ■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社 [韓国]
株式会社汎宇 [韓国]
三宜油化股份有限公司 [台湾]

## ■ 役員 (平成25年6月25日現在)

代表取締役社長	大胡 栄一
代表取締役会長	長井 禎明
常務取締役	広部 雅久
常務取締役	百束 立春
常務取締役	阪口 善裕
取締役	岸 裕次
取締役	岡本 晴夫
取締役	濱元 伸二
常勤監査役	千葉 保雄
常勤監査役*	佐々木 智
監査役*	野末 昭孝

(注) ※は社外監査役です。

## ■ 事業所

テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市長区鳴海町社若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所	北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧海見第一ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
北陸営業所	石川県金沢市森戸 1-158
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法

電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。